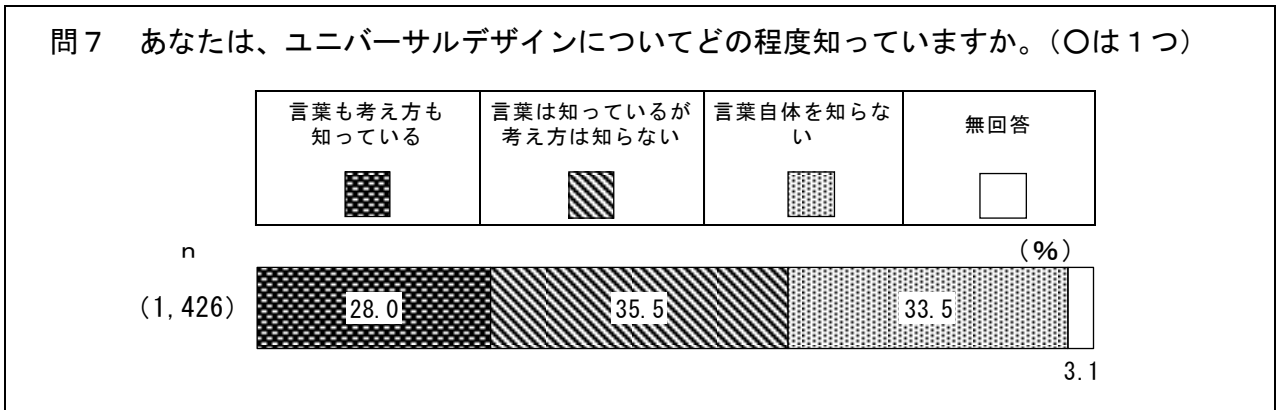


3 ユニバーサルデザインについて

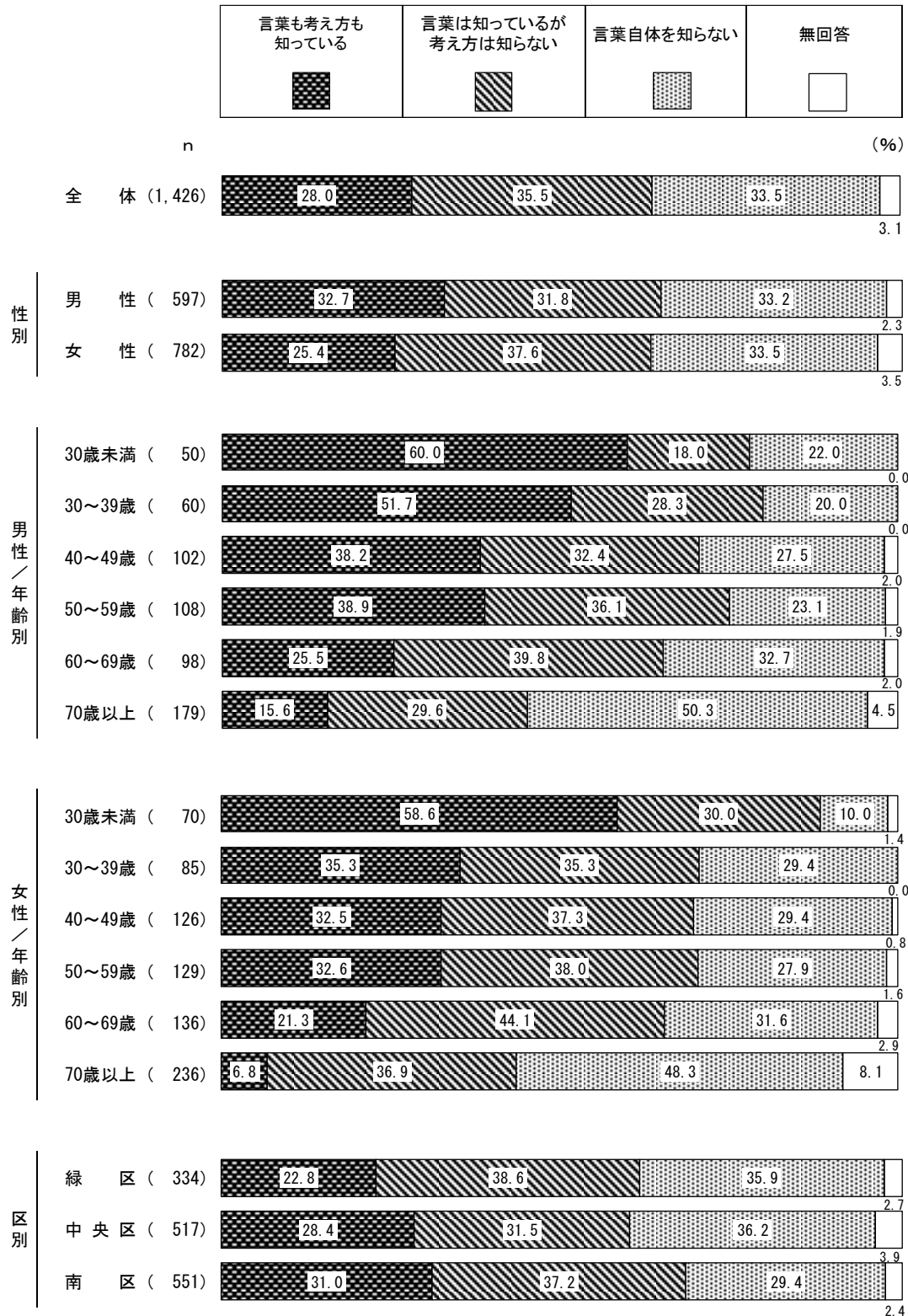
(1) ユニバーサルデザインの認知度



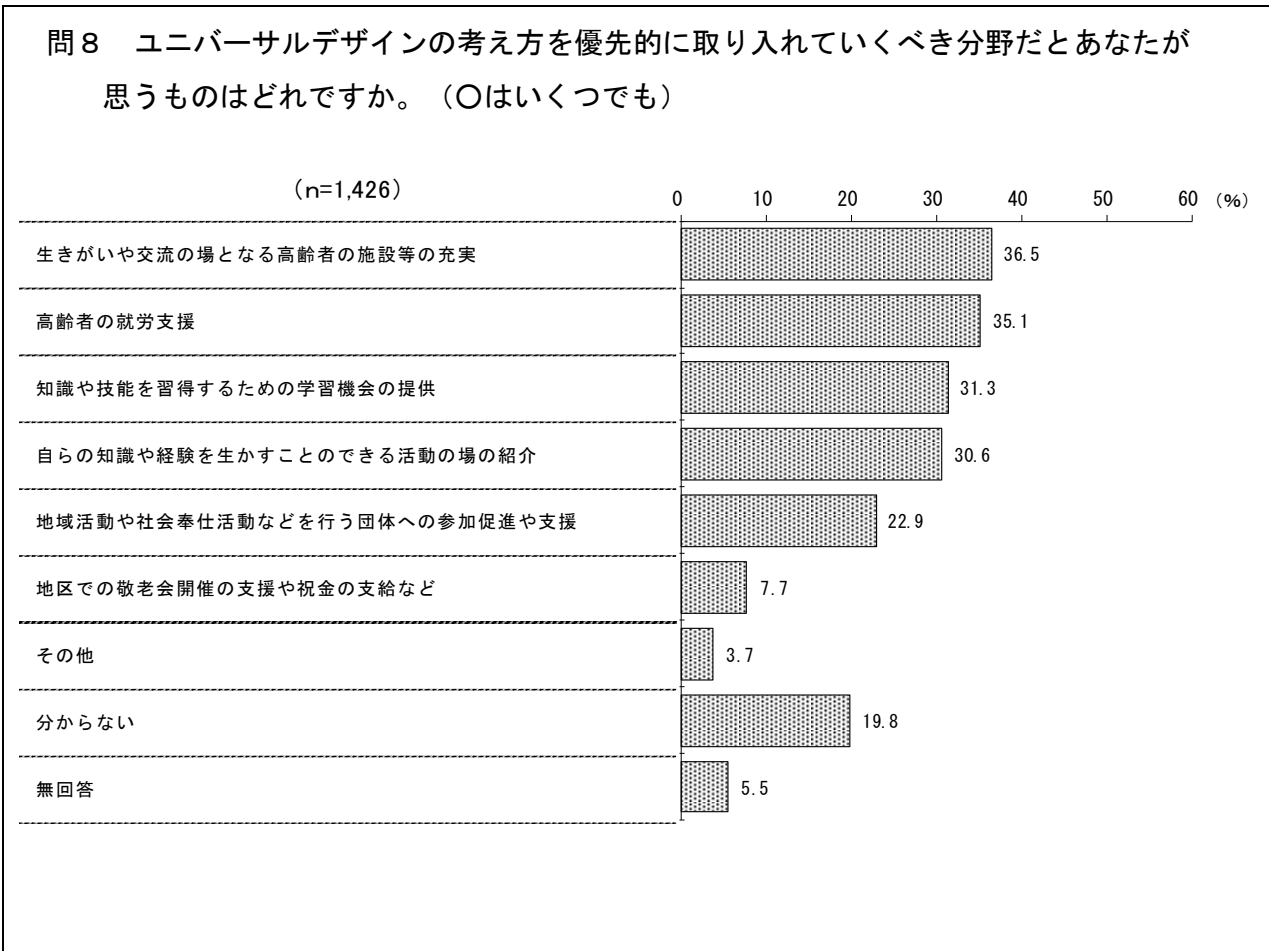
ユニバーサルデザインについてどの程度知っているかたずねたところ、「言葉も考え方も知っている」(28.0%)が2割半ばを超えており、「言葉は知っているが考え方は知らない」(35.5%)は3割半ばとなっている。一方、「言葉自体を知らない」(33.5%)は3割半ばとなっている。

<性別・性／年齢別・区別結果>

性別でみると、「言葉も考え方も知っている」は男性が女性より7.3ポイント高くなっている。一方、「言葉は知っているが考え方は知らない」は女性が男性より5.8ポイント高くなっている。性／年齢別でみると、「言葉も考え方も知っている」は男性30歳未満の年代で6割と高くなっている。一方、「言葉自体を知らない」は男性70歳以上で約5割と高くなっている。区別でみると、「言葉も考え方も知っている」は南区で3割を超えて高くなっている。



(2) ユニバーサルデザインの考え方を優先的に取り入れていくべき分野



ユニバーサルデザインの考え方を優先的に取り入れていくべき分野をたずねたところ、「生きがいや交流の場となる高齢者の施設等の充実」(36.5%)が3割半ばで最も高く、次いで、「高齢者の就労支援」(35.1%)、「知識や技能を習得するための学習機会の提供」(31.3%)、「自らの知識や経験を生かすことのできる活動の場の紹介」(30.6%)、「地域活動や社会奉仕活動などを行う団体への参加促進や支援」(22.9%)と続いている。

<性別・性／年齢別・区別結果>

性別で見ると、「生きがいや交流の場となる高齢者の施設等の充実」は女性が男性より5.9ポイント高くなっている。一方、「地区での敬老会開催の支援や祝金の支給など」は男性が女性より2.0ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「生きがいや交流の場となる高齢者の施設等の充実」は女性70歳以上で4割半ばと高くなっている。

区別で見ると、「高齢者の就労支援」は緑区と南区で3割半ばを超えている。

